

# キャップ破損軽減、作業効率改善

Made in 新潟 新技術

## 鉄筋挿入工用の低床型保護材

ダイチ（新潟田市新  
富町3-9-1 渡辺  
寿則代表取締役）は、  
ロックボルト工（鉄筋  
挿入工）用の低床型頭  
部保護材「UFOキャ  
ップ」の販売を強化す  
る。

「Made in

新潟 新技術」に登録  
されており、保護キャ  
ップの低床化を図ると  
ともに、球面ワッシャ  
ーとプレートを一体化  
することにより、構成  
部材点数を少なくし、  
落石や雪崩によるキャ  
ップの破損を軽減す  
る。さらに、作業効率

の改善や、コスト削減  
を可能にした製品とい  
える。これまでは、四  
角形のプレート+球面  
ワッシャー+コマ  
ナット+保護キャ  
ップと部材点数が  
多く、作業効率に  
難点があったとい  
う。特に中山間部  
における除雪路線  
沿いの路面に近い  
部分では除雪作業  
による破損が頻発  
し、維持管理の必  
要があった。

公共工事では、恒久  
対策のロックボルト工  
が適用される工事全般

### ダイチ

および従来品が破損し  
た場合の維持補修現場  
や、除雪路線、上部か  
らの落石が懸念される  
現場、豪雪地帯  
の現場に効果が  
高い。また、早  
期に緑化による  
景観改善が必要  
な現場が挙げら  
れる。一方、道  
用できない箇所  
はロックボルト  
工の傾角が、法  
枠上等の支承構  
造物に対して15度以上  
に計画されている現場  
や、補強材の種類がD  
19および22、25、自穿

孔以外で設計されてい  
る現場、箱抜き径が85  
以下で設計されてい  
る現場。施工時の注意  
点としては、グラウド  
注入後、補強材を挿入  
する際にワッシャー付  
プレートとナットを仮  
装着し、余長がキャッ  
プ内に収まることのほ  
か、ナットが完全に装  
着できることを確認す  
る。

活用実績をみると、  
県土木関係発注工事で  
31件、県内の市町村は  
2件、国が2件、民間  
が4件となっている  
（3月末現在）。